

高等学校

教科【国語】

単元【国語表現：言葉のないショートフィルムに言葉を与えよう】

主体的・対話的で
深い学びのポイント

題材となる台詞のない視聴覚教材の分析にICTを活用することで、学習者が自分のペースで考えることが可能になるといった個別最適な学びが促進され、学びが深まる。

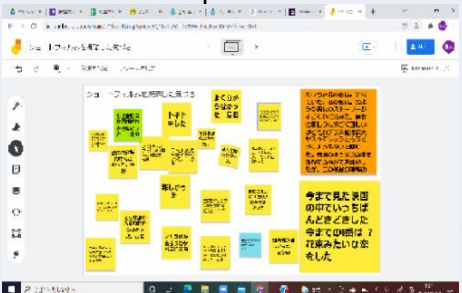
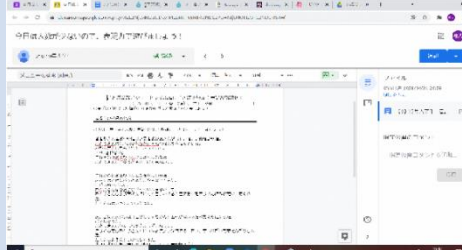
ICT活用のポイント

個別最適な学びはもちろんのこと、Googleドキュメントを用いることで学びの共有が容易になるため、他者の意見を取り入れつつ学びを進めるような協働的な学びをデザインすることができる。

使用するICT機器	PC、タブレット等	使用するアプリ・クラウドサービス等	Google Workspace (Classroom、Jamboard、ドキュメント、YouTube)
クラウドの活用	☒ 教材の配布・回収等 ☒ 生徒の学習状況の把握	☒ 資料等の共有 ☐ その他（ ）	

本時のねらい

言葉のないショートフィルムに言葉を与えることを通して、事象を的確に描写したり説明したりする等、表現の仕方を工夫することができる。

	主な学習活動 (学習場面)	ICTの活用・留意点等	評価
一斉 導入	○視聴覚教材（YouTube上の二分程度の動画）を視聴し、気づいたこと等をJamboardに貼る	 Jamboardには気づきや疑問等を貼っていくことを説明する。  Google Classroomにアクセスし、Jamboardを開いた状態で視聴覚教材を視聴する。 指針2 クラウド 	
一斉	○本時の目標を確認する		
一斉	○本時の学びについての説明を聞く	 Google classroom上にアップロードされているワークシート（Googleドキュメントで作成）をモニターに提示しながら、どのように取り組めばよいのかについて説明する。 クラウド ICT機器	
個別 展開	○視聴覚教材（Google Classroomに、導入で視聴した動画をアップロード）の分析を行い、物語を作成する	 Google Classroomにアクセスし、各自で視聴覚教材を分析し、ワークシートに物語を書く。 指針3 クラウド 	ここで評価 【思】視聴覚教材を分析し、事象を的確に描写したり説明したりする等、自分が分析したことを工夫して表現している。
協働	○完成した物語を読み合う	 自分が作成した物語との共通点や相違点を意識して読むように説明する。 クラウド	
個別 終末	○本時の振り返り	 Google Classroom上にあるリフレクションシート（Googleドキュメントで作成）に反省を記入する。 机間指導の中で生徒の取組を確認  指針4 クラウド	

※ 表内の指針1～6は、「ICT活用授業指針」8ページにあるICT活用授業の目指す姿1～6を表しています。

※ ICTの導入が目的化しないように、ICTを活用する場面と活用しない場面を効果的に組み合わせることが重要です。

※ 評価の観点 【知】＝知識・技能 【思】＝思考・判断・表現 【態】＝主体的に学習に取り組む態度